

豊田巴川橋

TOYOTATOMOEGAWA BASHI

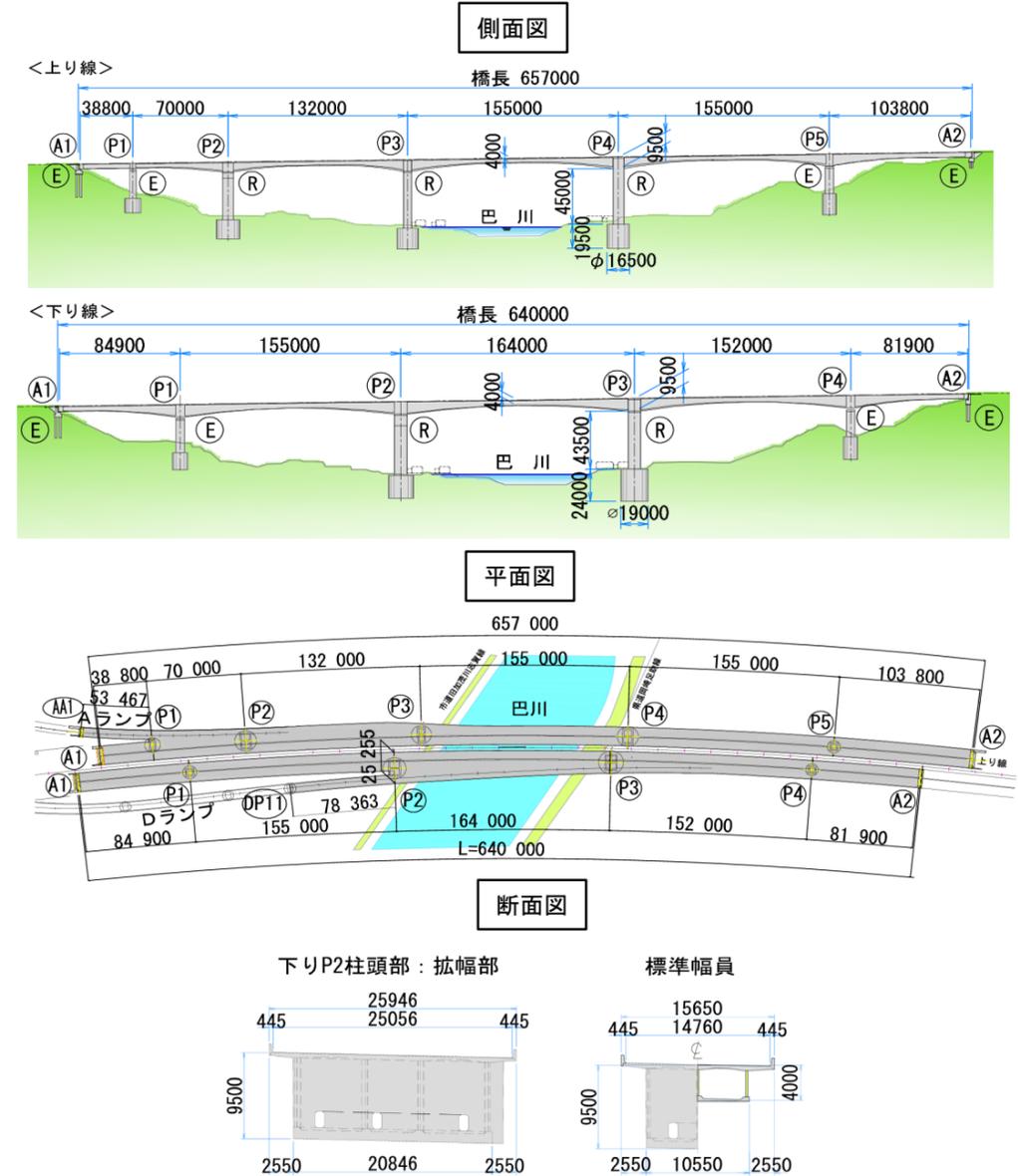
● 発注者：中日本高速道路（株）	● 橋梁形式：上り線：PC6径間連続ラーメン波形鋼板ウェブ箱桁橋 下り線：PC5径間連続ラーメン波形鋼板ウェブ箱桁橋
● 設計者：（基本）八千代エンジニアリング（株） （詳細）施工者	● 橋長×幅員：上り線：657.0m×15.65～24.361m 下り線：640.0m×15.65～25.925m
● 施工者：三井住友建設（株）・（株）富士ピー・エス・（株）安部日鋼工業JV	● 着工・竣工年月：2009年6月～2014年11月
● 工事場所：愛知県豊田市	



■キーワード

- 最大支間長164mは、波形鋼板ウェブ箱桁橋で国内最長（完成当時）
- Rap-Con工法の採用による施工の合理化
- 拡幅構造に対応するため、2～3室箱桁断面を採用
- 本線橋とランプ橋が柱頭部で結合する分岐構造
- 平成26年度 プレストレストコンクリート工学会賞（施工技術部門）受賞

構造図



構造諸元

用途：道路橋（第1種第2級B活荷重）
 支間割：上り線：38.8m+70.0m+132.0m+2×155.0m+103.8m，下り線：84.9m+155.0m+164.0m+152.0m+81.9m
 PC定着工法：ディブダーク工法（内・外ケーブル）、SM工法（横締めケーブル）
 架設補助工法：

文献等

- プレストレストコンクリート（2015.11）
- プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集（第18回：2009.10、第23回：2014.10）
- 橋梁と基礎（2010.3、2014.4）
- Prestressed Concrete 情報誌「PCプレス」（2015.9）